

aiwa

型番：GAA4-CRC0001(BK/RD)

CD ラジオカセットレコーダー

aiwa audio -G CRC1

ユーザーマニュアル

■はじめに

お使いになる前にかならずお読みください。

○ お客様、または第三者が本製品のご使用を誤ったこと、または静電気や落雷などの影響を受けたことによって生じた事故や不具合、それらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いません。あらかじめご承知ください。

○ 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷、お買い上げ後の輸送、落下による故障及び破損が認められる場合、いかなる事由においても修理・交換はいたしかねますことを、あらかじめご承知ください。

■安全上のご注意

お使いになる前にかならずお読みください。

次の警告表示は、注意事項を守らなかった場合に起こりうる事故の程度を表します

	警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(※1)を負うことが想定されるもの
	注意	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害(※2)を負うことが想定されるもの、または物的損害(※3)の発生が想定されるもの

※1：重傷とは、失明やケガ、火傷(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期にわたる通院を要するものを指します。
※2：傷害とは、治療に入院や長期にわたる通院を要さないケガや火傷、感電などを指します。
※3：物的損害とは、家屋、家財、および家畜やペットなどにかかわる拡大損害を指します。

次の記号は、その注意事項の内容を表します。

	禁止 (してはいけません)		水がかかる場所で使用したり、水にぬらしたりしてはいけません		ぬれた手でさわらないこと
	分解禁止		指示を守ること(必ずしなければならないこと)		電源プラグを抜くこと

⚠ 警告

 下記の問題が発生した場合は、ただちに電源コードを抜いてください。そのまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

- ・使用中・充電中・保管時に、発煙・異臭・異音などが発生した場合
- ・本製品内部に水や異物が入った場合
- ・本製品を落とした場合
- ・本製品が破損した場合

○ コードが傷んだり、異常に熱くなった場合は、ただちに本体の電源をオフにし、接続を外してください。そのまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

上記の問題が発生した場合は、電源コードを抜いた後、サポートセンターにご連絡ください。

 本製品を火中や水中に投入したり、加熱したりしないでください。乾電池の液漏れ、発熱、発火、破裂により大ケガや火災の原因になります。

○ 落としたり、投げたりして衝撃を与えないでください。本製品の故障の原因となり修理ができません。

○ 本体内部に異物を入れたり、端子部に接触させたりしないでください。金属類や紙などの燃えやすい物が内部に入ったり、端子部に接触すると火災や感電などの原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

○ 自動車やバイク、自転車などの運転中や歩行中は本製品を使用しないでください。交通事故の原因となります。

○ 梱包で使用しているビニール袋は乳幼児の手の届く所に置かないでください。鼻や口をふさいで窒息するなど、ケガの原因となることがあります。

○ ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないでください。本体が落下してケガの原因となります。

○ 修理、改造、分解をしないでください。火災や感電の原因となり修理できません。



分解禁止



ぬれ手禁止

○ ぬれた手で電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



水ぬれ禁止

○ 本体内部に水が入ったり、ぬれたりしないようご注意ください。火災・感電の原因となります。

○ 風呂場、シャワー室などでは使用しないでください。感電や回路のショートなどによる火災や故障の原因となります。



注意



禁止

○ 本製品の上に物を載せたり、本来の目的以外に使用したりしないでください。ケガや故障の原因になります。

○ 直射日光の当たる場所、車の社内や温室などの温度や湿度の高いところに置かないでください。火災・やけど・感電の原因になることがあります。

○ 殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色、塗装はげの原因となります。

○ 本製品に磁気を帯びたものを近づけないでください。強い磁気を近づけると誤作動の原因となります。また、磁気カードなどを本製品に近づけないでください。キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

○ 本製品を使用しているときに身体に疲労感、痛みなどを感じたときは、ただちに使用を中止してください。使用を中止しても疲労感、痛みなどが続く場合は、医師の診断を受けてください。

○ ほかの電気機器の近くで使用した場合、お互いが干渉し雑音が発生する場合があります。特に近くにテレビやパソコンなどの機器がある場合、雑音が大きくなることがあります。その場合は離れた場所でご使用ください。

○ 旅行などで長期間ご使用にならない場合は、安全のため乾電池を本体から抜いてください。乾電池の液漏れが思わぬけがや火災、故障の原因となり大変危険です。またその場合は修理できませんのでご注意ください。

○ 本製品を長時間使用する場合、特に高温環境では熱くなることがありますので注意してください。

○ 電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。火災や感電の原因となります。

○ 電源プラグや端子に付いたほこりは、乾いた布で拭きとってください。火災や感電の原因となります。

 ○ 本製品を濡れた手で扱わないでください。火災や感電の原因となり大変危険です。また水濡れが原因で発生するショート・電池の液漏れ等が原因で故障した場合は修理できません。



指示

○ 電源プラグは、根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですとほこりが付着して火災や感電の原因となります。



電源プラグを抜く

○ 旅行などで長期間ご使用にならない場合は、安全のため電源コードをコンセントから抜いてください。万一故障してしまった場合火災の原因となることがあります。

電波法 電気通信事業法に関するご注意

改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合**は電波法/電気通信事業法に抵触します。**

○ 本製品を分解して内部の改造を行った場合、電波法および電気通信事業法に抵触しますので絶対に使用されないようお願いいたします。

電波障害に関するご注意

○ 本製品は一般的な屋内の環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビの近くで使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

○ 正しく取り扱っても、電波の状況によりラジオ、テレビの受信に影響を及ぼすことがあります。そのような場合は、以下にご注意ください。

- ・本製品をラジオ、テレビから十分に離してください。
- ・ケーブルは付属のものを使用してください。

お手入れに関して

○ 本体の汚れは柔らかい布で軽く拭き取ってください。

○ 汚れがひどい場合は、布を水で薄めた中性洗剤に浸し、よく絞ってから拭き取り、乾いた布で仕上げてください。ペンジンやシンナーは絶対使用しないでください。変色したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。

○ 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

結露(つゆ付き)に関して

○ 結露が発生した状態で本製品を使用すると、故障の原因となる場合があります。結露は以下の状況で発生場合があります。

- ・寒い場所から急に暖かい場所へ本製品を持ち込んだ時
- ・暖房をつけ始めた場所や、エアコンなどの冷風が直接あたる場所で使用した時
- ・冷房がついた部屋、車内などから急に温度、湿度の高いところに移動して使用した時
- ・湿気の多い場所で使用した時

○ 結露が発生した場合は本製品をすぐに使用しないでください。本製品を2-3時間程度室温で放置し付着した水滴がとれるまでお待ちください。

CDの取り扱いに関するご注意

○ 本機で使用可能なディスクは右のマークのある市販のCDもしくはCD-R/RWです。CDG/CDV/CD-I/CD-ROM/DATA-DISC/DVD/BDなどは使用できません。またMP3などの圧縮ファイルは再生できません。

○ コピーガード付きCD(CCCD等)は再生できない場合があります。
ディスクの取り扱いについて

ケースから取り出すときはホルダーを押さえ、再生面に触れないよう取出します



○ ひび割れや変形したディスク、またはテープや接着剤で補修したディスクは危険ですので使用しないでください。

○ 再生面・印刷面にテープやふせんを貼らないでください。

○ ハート型や八角形などの特殊形状ディスクやラベルなどが貼付されたディスクは使用しないでください。故障の原因になります。

ディスクのお手入れについて

○ シンナーやペンジン、レコード盤用クリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。ディスクを傷める恐れがあります。

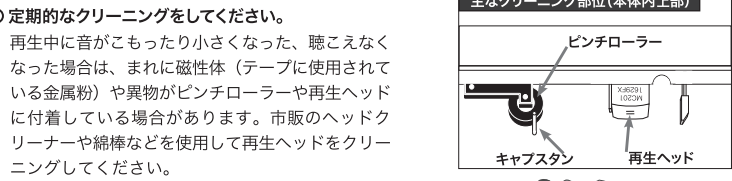
○ CDを拭く時には柔らかいタオル等をご使用ください。ティッシュペーパーはディスクに細かな傷がつくので使用しないでください。

○ CDを拭く時には中心から外側に放射状にまっすぐ拭いてください。CDは同心円状の傷に弱く再生できなくなる場合があります。

カセットテープの取り扱いに関するご注意

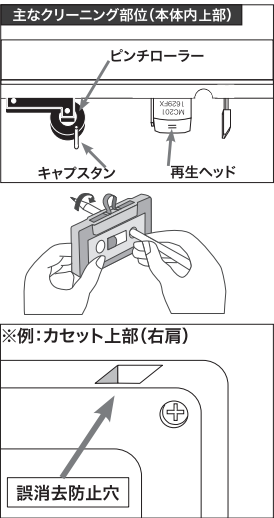
○ **本機で使用可能なカセットテープは60分テープまでです。**
60分を超える物はテープの劣化等の影響で絡まりやすいためご使用をお控え下さい。テープが切れ故障の原因となります。

○ **本機の仕様はノーマルタイプ(TypeⅠ)再生です。**
ハイボジ(TypeⅡ) / フェリクロム(TypeⅢ) / メタル(TypeⅣ)の再生は可能ですが、ノーマルタイプ相当の音質となります。



○ **テープのたるみにはご注意を**
再生時にテープがたるんでいると本体に絡まりテープにダメージを与える可能性があります。再生前に右図のように鉛筆などで直してからご使用ください。

○ **カセットテープには誤消去防止機能があります。**
買ったばかりの空のカセットにはカセット上部の左右両端に誤消去防止の爪があります。録音後に爪が折られたカセットや市販のミュージックテープは四角い穴が開いた状態であり、録音ボタンが下がりません。再録音する場合は四角い穴をセロハンテープ等で塞いでください。



ラジオの受信状態に関するご注意

○ ラジオは受信する場所によっては弱電界や建物等の死角となり受信できない場合があります。

○ 本機のFMラジオは本体背面のアンテナコードで受信します。アンテナコードの向きを変えることにより受信状態が改善する場合がございます。

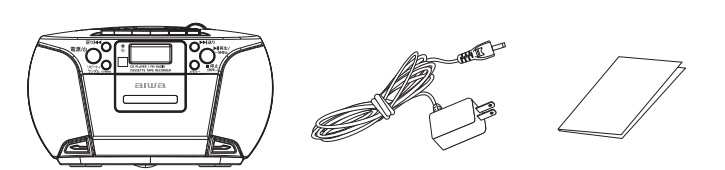
○ 本機にAMラジオの受信機能はありません。AMラジオは将来的に停波の予定もあり、今後はFM電波でラジオを受信するワイドFMが主流になります。本機のワイドFM機能での受信をお試し下さい。

各地域の対応放送局は新聞または総務省のホームページでご確認下さい。
総務省トップ>政策>情報通信(ICT政策)>放送政策の推進>ワイドFM>全国民放FM局・ワイドFM局一覧
https://www.soumu.go.jp/menu_seisaku/ictseisaku/housou_suishin/fm-list.html

製品仕様 及び 同梱物

- ・本体サイズ: 約 幅245x奥行215x高さ250mm
- ・スピーカー出力: 1.2Wx2 4Ω
- ・本体重さ: 約 1,433g
- ・再生可能CD: CD・DAのみ
- ・材質: ABS樹脂 他
- ・カセットデッキ: ノーマルタイプ(TypeⅠ)専用
- ・電源: 本体AC100V(50/60Hz) アルカリ単二電池x6本(別売り) 定格: 9V_1A
- ・FM受信周波数: 76~108MHz
- ・出力端子: イヤホン3.5mmミニジャック
- ・消費電力: 9W (待機消費電力: 0.1W)

■同梱物: 本体x1、電源ACアダプター、保証書付取扱説明書(本書)



廃棄について(リサイクル)

○ パッケージの分別方法は地域によって異なります。お住いの市町村の指示に従って分別排出してください。識別マークは外箱に表示されています。

アフターサービスについては、直接下記サポート窓口までお問い合わせください。

サポートセンター

TEL:0570-055-054 (ナビダイヤル 有料)

FAX:048-997-2082 (有料)

受付時間 10:00~12:00、13:00~17:00 (土、日、祝祭日および当社規定休業日を除く)

Eメールアドレス: aiwa@tohshoh.jp

○通話中の場合、しばらく経ってからおかけ直してください。
○サポートセンターの電話番号、対応時間などは予告なく変更することがあります。
○年末年始などのサポートセンターの休業日には、お客様への対応ができない場合がございます。
※本製品に関するお問い合わせ、サポート、サービスについては、日本国内限定とさせていただきます。

〈販売元〉
株式会社とうしょう (aiwa 特約エージェント)
〒340-0802 埼玉県八潮市鶴ヶ曽根 1442-1

各部の名称と使用方法

- ① **CDカバーフック** 指を掛けてCDプレーヤーの蓋を引き上げて開きます
- ② **CDプレーヤーカバー** CDをセットするCDプレーヤー部の蓋です
- ③ **カセットテープ録音ボタン** 空のカセットを挿入し録音する時に押します。同時に④ 再生ボタンが下がります。 ※カセットの誤消去防止の爪が折れている場合は下がりません。

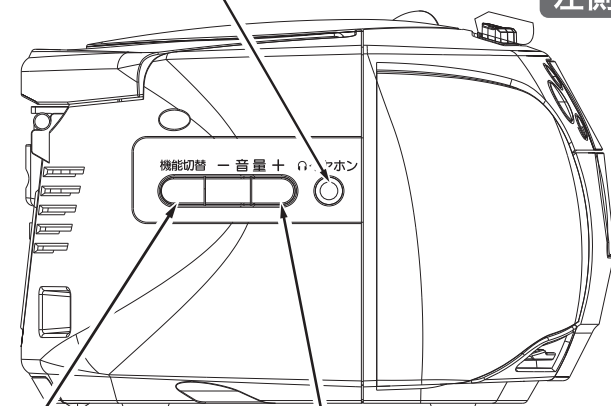
- ④ **カセットテープ再生ボタン** 録音されたカセットテープを挿入し演奏するボタンです。
- ⑤ **カセットテープ巻戻しボタン** テープの先頭に向かって巻戻します。
- ⑥ **カセットテープ早送りボタン** テープを先に進め早送ります。
- ⑦ **カセットテープ停止 / 取出しボタン** カセットの再生 / 録音 / 早送り / 巻戻しを止めます。テープが止まった状態で押すとカセットドアが開きます。

- ⑧ **カセットテープ一時停止ボタン** テープの再生・録音中に押した時点で一時的に停止状態になります。もう一度押すと解除され再生・録音が再開します。

- ⑨ **液晶ディスプレイ** CDの情報やラジオの情報が表示されます。
- ⑩ **電源ランプ** ACアダプターの接続、または電池挿入時に赤く点灯します。電源投入後は消灯します。

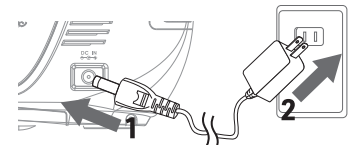
- ⑪ **CD戻りボタン** [短押] 曲の最初に戻ります。連続して2回押すと前のトラックに戻ります。 [長押] 音を聴きながら早戻しが可能です。 ※ラジオのマニュアルチューニングが可能です。

- ⑫ **電源ボタン** 長押しするたびに電源オン / 電源オフになります。
- ⑬ **ステレオイヤホン端子** 3.5mm ステレオミニプラグのイヤホンをご使用ください。



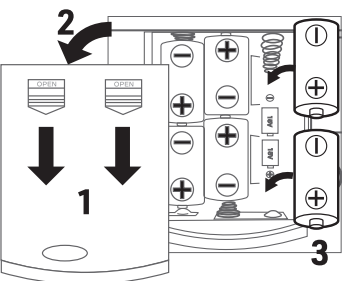
- ⑭ **機能切替ボタン** CD/カセットテープ / FMラジオを切替えます。
- ⑮ **音量ボタン (-/+)** プラスとマイナスで音量調整をします。

ACアダプターで使う場合



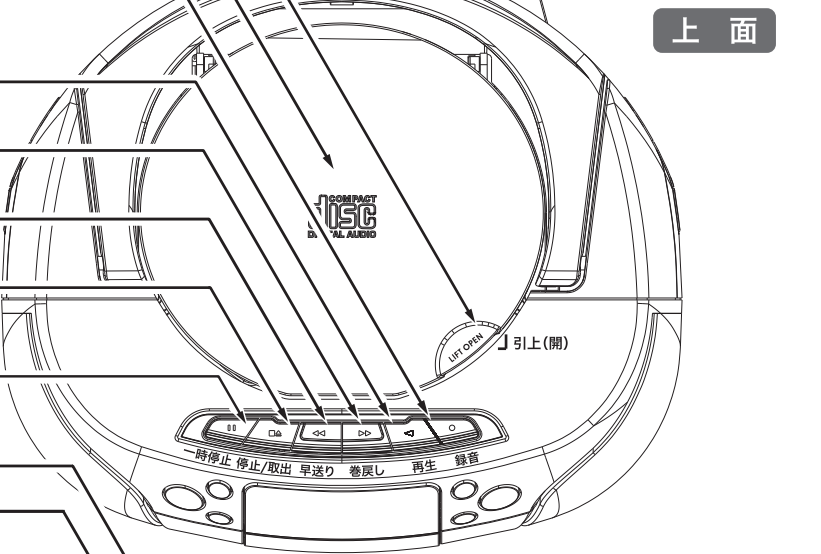
- 付属ACアダプターコード 先端のプラグを本体背面 [⑳ ACアダプター挿込口] にセットします。
- ACアダプター本体を電源コンセントに挿込みます。

電池で使う場合

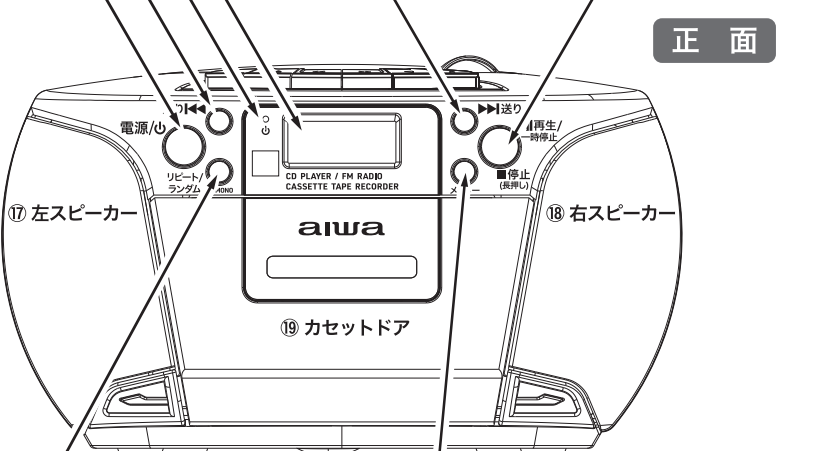


- 本体底面の電池カバー 2箇所の [OPEN] 部分を押しながら本体背面に向かってスライドします。
- 電池カバーを外します。
- 左図の電池向きを確認しながら1列ずつ電池をセットします。電池のマイナス側から、バネを押しつぶしながら次の電池を入れますと簡単です。

- ⑯ **可倒式グリップハンドル** 持ち運び時に使用します。使用しない時は後ろに倒してください。

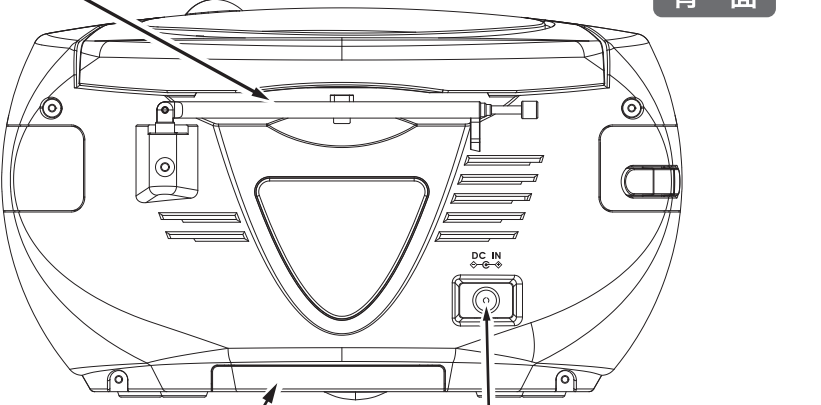


- ⑰ **CD送りボタン** [短押] トラックが先に進みます [長押] 音を聴きながら早送りが可能です。 ※ラジオのマニュアルチューニングが可能です。
- ⑱ **CD再生 / 一時停止ボタン** CDセット後に押すとCDが再生されます。再生中に押すと交互に一時停止と再開が繰り返されます。長押しで停止します。



- ⑲ **CDリピート / ランダムボタン** 押すたびに1曲リピート [□ 1] 全曲リピート [□ ALL] ランダム再生 [RAN] が切替ります。
- ⑳ **CD/FMメモリーボタン** CDに収録された曲順をあらかじめ登録して任意の順番で再生することが可能です。ラジオはオートチューニングによるプリセット局の登録、呼び出しに使用します。

- ㉑ **伸縮回転式ロッドアンテナ** FMラジオ受信時に使用します。



- ㉒ **乾電池挿入口 / 蓋** 蓋をスライドして外し乾電池を挿入します。
- ㉓ **ACアダプター挿込口** 付属のACアダプターコード先端のプラグを押し込みます。

ラジオの使い方

- [⑫ 電源ボタン] を1秒間押し電源を入れます。 ※⑩電源ランプが点灯します。
 - 本体左側面 [㉑ 機能切替ボタン] FMラジオに切替えます。 [⑨ 液晶ディスプレイ] に周波数が表示されスピーカーからラジオノイズが聴こえます。
 - [㉒ 伸縮回転式ロッドアンテナ] を伸ばします。
- **オートメモリー機能**
- 本機はワンタッチボタンでオートサーチを行い、最大30局まで放送局をプリセット登録することが可能です。
- [⑱ CD再生 / 一時停止ボタン] を1秒押すと周波数の表示が自動で動き、受信可能な放送が自動的に本体にプリセット登録されていきます。
 - [㉓ CD/FMメモリーボタン] を押すと「P01」「P02」と1局ずつ切り替わります。 [㉓ CD/FMメモリーボタン] を押し「P01」等のプログラム番号が表示されている間は [⑪ 戻りボタン] [⑮ 送りボタン] で任意の局に切り替える事が可能です。

※ オートメモリーで記憶された情報は、乾電池またはACアダプターで電力が供給されている間は電源を切っても保持されます。電池を抜く、ACアダプターを抜いた際は上記の方法で再度オートメモリー操作をしてください。

○ オートサーチ機能

- [⑪ 戻りボタン] [⑮ 送りボタン] を1秒以上長押しすると受信可能な放送を受信するまで自動でサーチします。

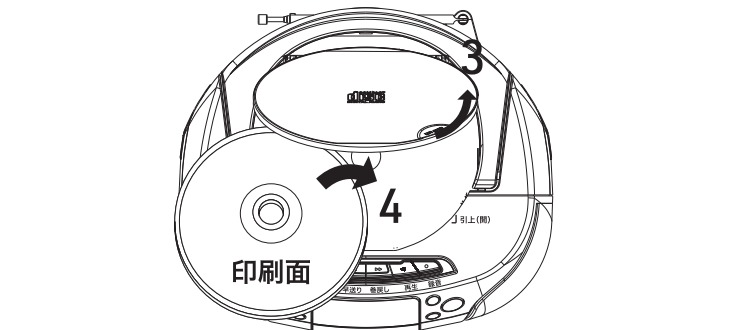
○ ST/MONO切替機能

- FMラジオは電波状態、周辺の環境によりチューニングが合っていないノイズが聴こえる場合があります。その場合は [㉒ リピート / ランダムボタン] を押すことでモノラル受信に切り替えノイズを軽減することが可能です。

CD の使い方

本機のCDプレーヤーでは音楽CD (CD-DA) のみ再生可能です。MP3等が格納されたデータCD、CD-R/RW は再生できません。

- [⑫ 電源ボタン] を1秒間押し電源を入れます。 ※⑩電源ランプが点灯します。
- 本体左側面 [㉑ 機能切替ボタン] でCDに切替えます。 [⑨ 液晶ディスプレイ] にnoの文字が表示されます。
- ① CDカバーフックに指を掛け ② CDカバーを真上に引き上げて開きます。
- 文字や写真が印刷されている「印刷面」を上、何も印刷されていない記録面を下にして中心の回転軸に「カチッ」とはまるまでセットします。



- 手でゆっくりと ② CDカバーを閉じます。線が点滅し読み取りが終わると曲数➡時間が表示され、自動で再生が始まります。
- 再生中 [⑪ 戻りボタン] [⑮ 送りボタン] でトラックの移動、 [⑱ CD再生 / 一時停止ボタン] を押すと曲の途中で一時停止します。再度押すと再生を再開します。
- 再生中 [⑱ CD再生 / 一時停止ボタン] を長押しすると完全停止します。

○ リピート / ランダム再生機能

停止または再生中に [㉒ リピート / ランダムボタン] を押すことで曲のリピート再生、ランダム再生が可能です。

- 停止中または再生中に [㉒ リピート / ランダムボタン] を押すと1曲リピート➡全曲リピート➡ランダム再生➡オフの順番で切り替わります。

○ 1 一曲リピート … 再生中または停止中に選曲した一曲を繰り返し再生します。

○ ALL 全曲リピート … CDに収録された全曲を通して繰り返し再生します。

RAN ランダム再生 … CDに収録された全曲を順不同に再生します。

※ [㉒ リピート / ランダムボタン] を押し1曲リピート➡全曲リピート➡ランダム再生➡オフ (表示なし) にすると解除されます。

○ プログラム再生機能

本機のCDプレーヤーでは音楽CD (CD-DA) に収録された曲を最大20曲までプログラムして再生することが可能です。

- CDの停止中に [㉓ CD/FMメモリーボタン] を押しプログラム画面を表示表示させます。「P01」「MEM」が表示されます。

- 液晶画面右上「MEM」表示が点滅している間に [⑪ CD戻りボタン] [⑮ CD送りボタン] を押し、登録したい曲番を呼び出し [㉓ CD/FMメモリーボタン] を押します。

- プログラムナンバーが「P02」に変わります。11.の操作を繰り返すことで最大20曲までプログラムが可能です。 ※「MEM」が点滅中10秒間操作をしなかった場合、プログラム登録モードは自動で解除されます。

- 必要な登録を終えたらそのまま [⑱ CD再生 / 一時停止ボタン] を押します。登録された順番に音楽が再生されます。

※ プログラム機能を解除するには [⑱ CD再生 / 一時停止ボタン] を長押ししてCDを完全停止にします。再度 [⑱ CD再生 / 一時停止ボタン] を長押しすることで「MEM」表示が消えプログラムモードが解除されます。CDカバーを開くと全て解除されます。

カセットデッキの使い方

※ 裏面[カセットテープの取扱に関するご注意]を良く読んでご使用ください。

- [⑫ 電源ボタン] を1秒間押し電源を入れます。 ※⑩電源ランプが点灯します。
- 本体左側面 [㉑ 機能切替ボタン] でテープに切替えます。 [⑨ 液晶ディスプレイ] に「tAP」の文字が表示されます。
- [⑦ カセットテープ停止 / 取出しボタン] で⑲カセットドアを開きます。
- カセットテープが露出している面を上に向け蓋の内側にセットして、カセットごと蓋を閉めます。
※本機は中のテープが右から左へ巻きとられますので右側の穴にテープが巻かれた状態でセットしてください。
- [④ カセットテープ再生ボタン] を押して再生します。
※片面が全て巻き取られると [④ カセットテープ再生ボタン] が自動で上がります。上記3.の操作を行い反対側の面を再生してください。

- 再生中に [⑧ カセットテープ一時停止ボタン] を押すと再生が一時的に停止します。再度 [⑧ カセットテープ一時停止] ボタンを押すと再生が再開します。
- [⑤ カセットテープ巻戻しボタン] を押して巻戻し、 [⑥ カセットテープ早送りボタン] を押して早送ります。
※本機には頭出し機能はありません。また、早送り・巻戻し中もスピーカーから音は聴こえません。テープの巻き取り量を目安に [⑦ カセットテープ停止 / 取出しボタン] で止めてください。
※巻取が終了しても [⑤ カセットテープ巻戻しボタン] [⑥ カセットテープ早送りボタン] は自動で上がりません。 [⑦ カセットテープ停止 / 取出しボタン] で止めてください。

■カセットテープへの録音方法

本機は各機能 [ラジオ / CD] からカセットテープへの録音が可能です。

- 空のカセットテープをセットして録音したい各機能に切り替えます。
- 各機能の音が聴こえる状態で [③ カセットテープ録音ボタン] を押します。
- [④ カセットテープ再生ボタン] が同時に下がり、両ボタンが下がった状態であれば録音がされています。
- 録音を終了するには [⑦ カセットテープ停止 / 取出しボタン] を押してください。

故障かな？と思ったら

共 通	音が出ない	○ 本体の電源はオンになっていますか？ ○ 本体背面のACアダプターコードが抜けていませんか？ ○ 電池でご使用時は全ての電池を新しい物に交換してください
カセットテープ	再生できない	○ テープは正しく録音されたものですか？ ○ 機能切替はテープになっていますか？ ○ 再生ヘッドが汚れていませんか？ ○ テープは巻戻されていますか？
	録音できない	○ 誤消去防止の爪が折れていませんか？ ○ 録音したい音源の機能に切り替わっていますか？ ○ 本機にマイクはありません。声を録音する事はできません。
ラジオ	受信できない	○ ロッドアンテナが伸びていますか？ ○ 本機にはAMラジオの受信機能はありません。本書裏面のラジオの受信状態に関するご注意及び新聞等の番組表をご確認ください